

## 自治体(多摩市)からの課題

公開された各種財政データを活用して、市民が自分事として行財政状況を把握できる環境整備

## 私たちの提案(やりたいこと)

- 多くの市民の参加を募って、その意見を反映した「財政白書」を作しましょう。
- そのための「財政白書プロジェクト」を企画しましょう。
- この「財政白書プロジェクト」に XViewの機能に基づくインターネットサイト「市民フォーラム@多摩市ByGov」を提案します。

## 背景とポイント

- ・近年データ、情報をオープンデータとして公開する機運が高まってきた。
- ・データをグラフや地図に視覚化して表現できるツールが簡単に利用できるようになってきた。
- ・SNS等コミュニケーションツールが普及してきた。

しかし、これらの機能が統合された仕組みとして確立しておらず、個人や一部グループがそれぞれの興味に応じて単発的に発信しているに過ぎず、仕組みとして真に社会のためにオープンデータが利活用されているとは言い難い状況にある。

ここに、一般市民が**行財政状況を把握する環境(仕組み)**として

**「データ、情報」「これを視覚化、分析するツール」そして「コミュニケーションの場、機会」を三位一体で提供する。**

加えて**「財政白書」を作るという目的を行政と市民が共有して活動する市民協働のプロジェクトを企画。**

https://xviews.jp/sample/



# 市民フォーラム@多摩市 By Gov



## 行財政状況を把握できる環境・仕組みの実現 本サイトの機能

- データ・情報の提供手段
- 討議の場（データ・情報の持寄りを含む）
- 分析・視覚化ツール（持寄り分析を含む）
- 発表及び編集機能
- 広報機能

財政白書で取り上げるべきテーマ  
投稿エントリー

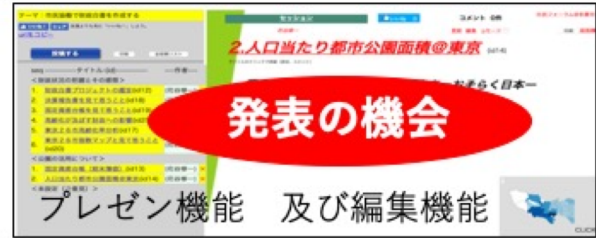
ID	種別	テーマ	内容	投稿日時	更新日時	ステータス
18-00000000	経費削減	経費削減の必要性	経費削減の必要性について議論する。	02/02	02/02	公開
18-00000001	経費削減	経費削減の必要性	経費削減の必要性について議論する。	02/02	02/02	公開
18-00000002	経費削減	経費削減の必要性	経費削減の必要性について議論する。	02/02	02/02	公開

FB・メール

投稿プール

討議の場

発表の機会



単純投稿

レポートを見て投稿する。

- ・ ソースデータを分析して投稿する。
- ・ XViewDBのコンテンツから投稿する。
- ・ 必要なら自身で収集したデータで投稿する

分析・視覚化ツール

XViewDB  
(政府統計等・・・)

多摩市財政状況

決算報告書決算額推移

人口動態

データ・情報の提供

### \*アナライズレポート

- 膨大なデータのその概要を示す代表的集計の一端を視覚化（グラフ化）して示す。
- そのグラフからソースデータ（全体データ）に導くことができ、必要なら自在に加工・分析ができるレポート

### \*ソースデータ

- レポートグラフの素となるデータ。
- 必要ならそのデータの細部が見える。
- 異なる視点でデータが分析できる。
- 他のデータと掛け合わせて分析ができる。
- データを持ち寄って分析ができる。

- ソースデータ項目をキーにして
- XViewDBの他のコンテンツを参照できる。（他市比較等）
- 関連するインターネットサイトの情報を参照できる。

## **提案の理由**

行政サイドの一方的な解釈によるデータではなくてエビデンスとしてのデータをオープンデータで提供する。

これを一般市民の誰もが理解しやすいように視覚化して提供し同時に多角的な視点で分析できるようにする手段（ツール）とその分析結果や意見を持ち寄り討議する場を提供する。

そして市民の関心を促すためのワークショップや発表会を企画し目的（例えば市民の意見を反映した財政白書を作るという目的）を持った市民協働プロジェクトとして実行する。

**このような仕組みが機能することで、市民同士あるいは市民と行政のエビデンスベースの討議が生まれる環境となって意見合意形成が成り、討議デモクラシーが醸成される。**

**そしてこれがEBPM(エビデンスベースドポリシーメイキング)の基盤となるプラットフォームになると考える。**

## **連携状況**

### ①データ公開状況

- 全事業の決算データを始め各種財務データのオープンデータを公開  
今後は、データ種類の拡幅を予定 / 利用しやすい名称ルールを調整

### ②市民／学生のサポート状況

- 市として取り組み予定の市長公約「市民協働で『財政白書』づくり」に向けたワークショップや講座に招待し、市の取り組みを共有。

「まちづくりシミュレーションゲームSIMたま2030」  
「これからの多摩市の“お金”の話をしよう」

### ③市民／学生とのコミュニケーションについて

- 上記ワークショップ時の意見交換に加え、ツールのイメージを適宜メールにて共有。

### ④今後の方針

- 「市民協働で『財政白書』づくり」実現に向け、多くの市民に使いやすいツールや環境の提供を期待。
- 市が提供する様々なオープンデータを利活用して行財政を自分事として対話する環境・人財づくりを推進。